

宇宙開発の現状報告

(平成 22 年 12 月 1 日(水) ~ 平成 22 年 12 月 7 日(火))

平成 22 年 12 月 8 日
宇宙開発委員会事務局

宇宙開発に関する海外の動向

- プロトンロケットによる航行測位衛星の打上げに失敗 【露】
12 月 5 日(日)10 時 25 分(世界標準時、以下同じ)、ロシアは、バイコヌール宇宙基地より、航行測位衛星「グロナス M」3 機を搭載したプロトンM/ブロックDM3ロケットを打ち上げたが、軌道投入に失敗した。打上げ時の質量は 1 機当たり約 1,450 kg。なお、現在軌道上に配備しているグロナス衛星は合計 26 機で、うち 2 機が予備機、4 機が非運用状態(12 月 8 日現在)。

宇宙開発に関する国内の動向

- 「きずな」による遠隔医療実証実験の実施結果について
11 月 30 日(火)、JAXA と東京都小笠原村は、超高速インターネット衛星「きずな」(WINDS)を使用し、小笠原村診療所と東京都立広尾病院を結んだ遠隔医療実証実験を実施し、成功した。
小笠原村診療所と広尾病院の間での既存回線は 64 kbps であり、「きずな」を使用することで合計 24 Mbps、3 チャンネルの各種データを伝送することができ、高速通信回線のないデジタル・ディバイド(情報格差)地域との遠隔医療において、「きずな」による高速衛星通信が有効であることを実証した。
- 「はやぶさ」プロジェクト功労者に対する感謝状贈呈式について
12 月 2 日(木)、「はやぶさ」プロジェクト功労者に対する感謝状贈呈式が開催され、「はやぶさ」プロジェクトに参加した関係機関に対して、高木文部科学大臣、海江田宇宙開発担当大臣から感謝状が交付された。「はやぶさ」プロジェクトチーム(JAXA)及び「はやぶさ」プロジェクトサポートチーム(118 機関)に交付。